

平成20年度
「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」
実施報告書

日時 平成21年3月23日(月) 14時～16時

会場 大阪市立中央図書館 大会議室

平成20年度 大阪市子どもの読書活動推進連絡会

1. 日 時 平成21年3月23日(月) 午後2時～4時
2. 場 所 大阪市立中央図書館 5階 大会議室
3. 議事次第
 - (1) 事務局報告
 - 平成20年度「大阪市子ども読書活動推進事業」報告
 - 施設ガイドブック「タッチ」
 - 子ども読書の日記念事業
 - 平成20年度の図書館による子ども読書活動推進関連事業について
 - 平成20年度「学校図書館活性化事業」について
 - 区の子どもの読書活動推進連絡会について
 - (2) 区の子どもの読書活動推進連絡会からの活動報告ー3つの区から実践報告ー
 - (3) 意見交換
 - (4) 「One Book One OSAKA」事業について

目 次

○区の子どもの読書活動推進連絡会からの活動報告ー3つの区から実践報告ー	
西淀川区役所重点施策「えほん展 ふわふわ」の取り組み(西淀川区) ……	p. 1
学校図書館活性化事業実施校	
南住吉大空小学校図書ボランティアの取り組み(住吉区) ……	p. 2
南港北中学校、南港南中学校での読書応援団派遣事業による	
おはなし会実施について(住之江区) ……	p. 3
○意見交換 ……	p. 4
○当日配布資料 ……	p. 8
平成20年度大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ ……	p. 8
平成20年度子ども読書活動推進事業について(市民学習振興担当分) ……	p. 10
平成20年度学校図書館活性化事業のまとめ ……	p. 12
平成20年度学校図書館活性化事業 実施校一覧 ……	p. 15
平成20年度学校図書館活性化事業 中間報告 ……	p. 16
平成20年度学校図書館支援ボランティア講座一覧 ……	p. 20
平成20年度 各区子どもの読書活動推進連絡会 報告 ……	p. 21
乳幼児対象絵本展「えほん展 ふわふわ」 ……	p. 25
南港北中学校・南港南中学校おはなし会プログラム ……	p. 27
「One Book One OSAKA」事業 ……	p. 28
大阪市子ども読書活動推進計画 ー概要ー ……	p. 29
大阪市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱 ……	p. 31
平成20年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会出席予定者名簿 ……	p. 33
平成20年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会事務局名簿 ……	p. 34

〇区の子どもの読書活動推進連絡会からの活動報告—3つの区から実践報告—

(1) 西淀川の重点事業「絵本展ふわふわ」の取り組みについて

西淀川図書館の館長の赤利と申します。よろしくお願ひします。

西淀川区では今年初めて西淀川区をあげて絵本展を開催しました。まず最初にケーブルテレビが編集してくれました当日のビデオがありますので、それを見ていただきましたら内容が分かりやすいと思います。数分ですので、まずそれをご覧くださいませ。

—ビデオ上映—

「(音声)12月3日、西淀川区のエルモ西淀川に子どもたちのために絵本が1,000冊やってくる「絵本展ふわふわ」が開催されました。「絵本展ふわふわ」ではエルモ西淀川の建物内に1,000冊の絵本が所狭しと並んでいます。絵本は、西淀川図書館や大阪市子育ていろいろ相談センターから集められたものを中心に、いろんなジャンル、いろんな年齢に向けた作品が並べられ、自由に読むことができます。会場に集まった子どもたちは両親やスタッフに読み聞かせてもらい、いろんな絵本を楽しんでいました。

地元佃中学校、淀商業高校の生徒たちが作ったオリジナル絵本も展示されていたんですよ。

会場では、子どもたちに向けて「ぐりとぐら」の衣装も貸し出されていたんですよ。赤や青の衣装に着替えて、絵本の世界をよりいっそう楽しむことができます。

小さい子ども向けの絵本を集めた部屋もあったんですよ。0歳から1歳児がお母さんに絵本を読んでもらって、色や形、お母さんの声を通して、絵本に興味を持っていきます。

こちらは、くみどりさんのおはなしライブです。組み木を使ったおはなしに歌を載せて、子どもたちに語りかけていました。お母さんも子どもたちもやわらかくやさしい雰囲気を楽しんでいました。」

—ビデオ終了—

西淀川区では保健福祉センターの子育て重点事業として絵本展をしたいという企画があり、図書館に相談に来られました。毎月社会福祉協議会の場を借りまして、区内の子育て関連施設や関連団体などが集まって「子育て支援連絡会議」が開催されています。図書館も毎月参加しておりますが、保健福祉センターから、その会議の場で絵本展を提案されまして実施することになりました。毎月の「子育て支援連絡会議」の後半を絵本展の実行委員会にあて、絵本展の相談をしていきました。実行委員会の事務局

は図書館と保健福祉センター、あと絵本の会西淀川のボランティアさんに入らせていただきまして、会議の前にいろいろ細かいところを決めながら実行委員会に提案をしていくという形で、毎月毎月話を進めて相談をしていきました。

また、いろんな形で区民の方にも関わっていただくということで公募ボランティアを区政だよりで公募して、絵本展ふわふわのポスターのイラストは区内高校生が描いてくれました。それ以外にも、準備段階では、面展台といって、先ほど見ていただいた絵本を載せる台を作る作業とか、エコ椅子といって、缶ビールの飲んだあとの缶を箱に詰め直して、それに紙を貼って簡単な椅子にする作業などをしました。当日は56人のボランティアのスタッフが参加して、先程見ていただいた絵本展を開催することができました。20年度は平日の金曜日の10時から3時までのたった1日だったんですが、本当にお天気に恵まれまして、12月3日でしたが、とても暖かい日でたくさんの人に来ていただくことができました。

絵本は、図書館と子育ていろいろ相談センターで借りて用意し、不足分の面展台は子育ていろいろ相談センターからお借りしました。借りるにあたりましても、図書館の搬送車以外にも、区役所や社会福祉協議会の車をお借りしたり、本当に区をあげての協力を得て成し遂げることができました。毎月毎月会議をやっておりまして、意思疎通もよくできて、すごく良い雰囲気の中で楽しい絵本展をやることのできたのが何よりだと思っております。

来ていただいた人からも、一日ではもったいなかったね、もっとやりたかったねというような声が、自然にあがってきました。アンケート等でも、もっと小学生にも見せたかったとか、幼稚園の子ども達も1日だけではとても来れなかった、残念だというような声が大きくありました。そこで、是非来年度に引き続いてこの事業をしていこうということになり、21年度は金、土、二日間の開催となる予定で下準備を進めようとしているところです。

絵本展をこうやってやることによりまして、絵本に対する関心がすごく広がりましたし、こんな大きな絵本展でなくても、割と簡単にどこでもできるよね、こんなにすごい準備はなくても、本と面展台さえあればどこでもできる、というふうな気持ちがみんなの中に生まれてきて、より本に親しめる環境を経験することができた、すごく良い催しだったと思います。

(2) 南住吉大空小学校の取り組みについて

失礼します。住吉区の南住吉大空小学校で図書ボランティアをしております岩切と申します。今日はいつも活動している4人のメンバーと一緒に参加させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。大空小学校は平成18年に開校して満三年の新しい学校で、10クラス児童数225名と小ぶりな学校です。

開校当初から、はぐくみネットの取り組みとしまして、コーディネーターをしている私ともう一人のメンバーで、まずは朝の読み聞かせをはじめました。1年がたって、もっとメンバーを増やしたいな、また図書館の整理などに関わりたいたいなと思っていたときに、学校図書館支援モデル事業の話がありまして、実施することになりました。さっそく、図書ボランティアの募集をしました。できるときにできる人が無理なく、ということで募りましたところ、保護者の方、また地域の方を合わせて9名集ってくださり、活動を開始することになりました。最初に名前をつけようということで、いろいろ検討しました結果、「図書レンジャー」とつけました。これは、はぐくみネットのこどもみまもり隊が「パトレンジャー」といって浸透しておりますので、レンジャーつながりで図書レンジャーというふうにしました。ここからは画面を見ていただいて活動を紹介したいと思います。

大空小学校図書レンジャーの活動、正式名は「読書選隊図書レンジャー」といいます。センタイは戦う隊じゃなくて、読書の本を選ぶということで、「読書選隊図書レンジャー」というふうにしました。これは図書レンジャーデビューということで朝会で私達が活動しますよ、ということで発表したときの模様です。次に活動の内容ですけれども、まずは読み聞かせです。火曜日と金曜日の朝読書の時間、図書レンジャー2人1組で、低学年は2クラス一斉に、あとは1クラスずつ入ります。15分間に2冊の絵本を読みます。時には紙芝居や、また、低学年で手あそびをしたり、高学年ではミニブックトークみたいなこともしたりしています。各学年、読み聞かせで年間15冊前後の本に触れることとなります。とても楽しみにしてくれていまして、集中して聞いてくれますし、ときにはアンコールがかかったりもします。

次に図書館の整理です。本棚の整頓はもちろん、子どもの興味を持っていそうな本を特集コーナーに並べたり、作家別コーナーなど、工夫して、本を手にとってもらいやすくしています。また、廊下側のスペースに、季節ごとの掲示物を作って、季節にちなんだ本や、お薦めの本を並べたりしています。これは、季節ごとの掲示物で、このようなものも作りました。

次に本の修理です。本が破れていたり、ページのはずれていた本を子ども達が見つけると、左端にあります本の病院というところに、診察券をはさんで入れておいてもらいます。その本を修理したり、保護カバーをかけて長く読んでもらえるようにしています。

次に図書館開放の様子です。学校図書館は基本的に一日中開放しておりますが、週に2回、火曜日の放課後と金曜日の昼休みに図書レンジャーが行きます。まず、図書レンジャーが来ています、と放送をかけて全校に知らせます。この写真では、とてもたくさんのお子さんがにぎやかに来てくれている様子なのですが、最初はすごく少なくて、先程の「学校図書館活性化事業のまとめ」の報告の中にもありましたけれども、もっと来てほしいな、誰も来ないという状況のときもありましたので、なんとかもっと図書館に足を運んでもらえるアイデアはないかな、ということでみんなで考えまして、次のような工夫をしてみました。図書館パスポートというのを発行しました。図書館に来ましたら、スタンプを私たちが押します。そしてスタンプの数の多い人を学期末に図書レンジャー大賞として紹介しようという企画を作りまして、今年の3学期から実施しました。これはとても効果があって、2、30人、多いときには40人近く来てくれたりもしました。スタンプを押すと帰ってしまう子もいますが、本を開いて、読んでくれたりもしています。また私達も、そのときに声をかけて、この本面白い？とか、こんな本もあるよとかいろいろ声をかけたりさせてもらっています。そして先日、図書レンジャー大賞の賞状を朝会で渡しまして、喜んでくれている様子です。

そしてこのような活動の紹介を、「図書レンジャー便り」というのを発行しまして、一番下のところにはボランティアも随時募集をしておりますということも書きまして、全家庭に配らせていただきました。そしてこちらはノートですけれども、これは活動日誌で、毎回読み聞かせや、また図書館開放の様子などをノートに記入します。このノートは学校の図書主任の先生との連絡ノートになっておりまして、質問とか相談を書いたり、先生も常に見てくださってコメントを返してくださいますので、情報交換が常にできています。

最後に、私たちが子どもと触れ合うなかで、卒業していく6年生に中学に行ってももっと本を読んでほしいという思いが募りまして、今回初めて卒業記念のしおりを作って渡そうということになり、先日手作りのしおりを朝会で贈らせてもらいました。そうしましたら、6年生は3年間読み聞かせを聞いてきた訳ですけれども、全員が一人ずつ感謝の言葉を私達にその場で述べてくれたんです。卒業生、6年生の感想の代表的なものに、ひとつは、今迄は本は

あまり好きじゃなかった、嫌いだったけれども、本を読むことが好きになったと言ってくれた子がいました。そしてまた、絵本は幼稚だと思っていたけれども、話がおもしろい、また、絵の美しさに触れて絵本も良いなあと思ったという子もいました。そして本を通して人として大切なことを教えてくれたと思う、ありがとうございますというふうに言ってくれた子どももいまして、本当に私たちはボランティア冥利に尽きるなあという、感激でいっぱいになりました。以上が私達の図書レンジャーの活動の報告ですが、図書レンジャーの活動を始めて1年半ですが、これからも様々な工夫をしながら本を好きになってくれる子どもたちが増えるよう頑張りたいと思います。以上で終わります。

(3) 南港北中学校南港南中学校での読書応援団派遣事業によるおはなし会について

絵本の会住之江の西本みどりと申します。このたび、子ども読書応援団派遣事業ということで初めて中学校に読み聞かせに行かせていただきました。その報告ということで。まず、ちょっと様子を見ていただきたいと思います。

ースライドー

これはみんなでかけあいで詩を読んでいるところです。

見ていただきましたように、普段皆さんが読み聞かせをされているのとはほとんど同じような状況だったと思います。私たちは今まで保育所、幼稚園、それから小学校の、どちらかというと低学年を中心に読み聞かせをさせていただいておりました。それで今回初めて中学生ということでかなり緊張して、中学生は一体どういった形で受け入れてくれるのだろうかということで非常に心配をしました。そのためどんな本を選ぶかということについてもかなり事前にみんなで打ち合わせをして、最終的に選ばせていただいたのは今お配りしております資料5の6つのプログラムということになりました。

実は私の子どもは、ちょうど今中学の1年生でして、家で「今度お母ちゃんちょっと絵本読むねん」という話をしましたら、ちょっと黙りましてね、絵本も本も大好きな子なんですけれど、「お母さん、中学1年生を馬鹿にしたらあかんで。絵本なんか読みに行ったらみんな馬鹿にするで」と言われたんですね。そこでやっぱり、ここでなぜ絵本をほんとにみんなに見てほしいか、これをきっちり言わないといけないな、と思ったんです。普段、講師の方から言われている、「絵本というのは芸術品として素晴らしい、言葉とそれから美術、両方聞かせてもらう、心をオフにしてそれを受け入れられる、そういう状況を作るんだよ」ということを再認識しました。み

んなで「絵本を心で受け止めてほしいんだよ」というのを最初にみっちり言おうということにしました。そうして絵本の中にもこんなものがあるということで、絵本のいろいろなものを見てもらいながら、とにかく今回は楽しんでもらおう、テーマ性とかいろんなことを話しあったんですけども、全部終わったときに、あ、楽しかったなと言ってもらえるような会にしようということにしました。

そこで選びましたのは、まず最初に元永さんの絵で谷川先生の本「いろ いきてる!」。本当に抽象的な本なんですけれども、絵本というのは物語だけじゃなくってこんなふうな美術的なものにもすばらしいものがあるよ、というところから入って、「コートのお話」。日本昔話をじっくり味わってもらうための「だいくとおにろく」というところにきまして、それから、きっとこの辺でみんな少ししんどいかな、という気になって、「つくつくづくし」といって、藤田浩子先生の本の中にありました、「つくく」という言葉でかけあいがでてくる、「お正月にはもちをつく、子どもたちならまりをつく、追羽根小羽根羽根をつく」と大きな紙に書いて出しまして、クラスの中を半分に分って、こっちは先やで、こっちは後やで、ということにして、リズムをとってかけあいでやることにしました。

そこでちょっと雰囲気崩した後に、最終、1番聞いてほしい絵本の「ビックオーとの出会い」、自分探しを、やはり中学生は1番興味を持つんじゃないかと、ビックオーの話を持って来ました。本当に1番から4番までは5番目を聞いてもらうための体ほぐしみたいな感じになったんですけども、最後の「ビックオーとの出会い」ということにしました。そして最後はその関連する本の紹介ということで、自分探し関係の本を中心に絵本以外のものも紹介するというかたちで進めました。

最後、どんな感じで終わるかなというのが心配だったんですけども、とにかく今回私達、幸いなことに2校行かせていただくことができました。1校目をやって、ちょっとここはという所は2校目修正するというような形の進め方もできたのが非常に幸いだったんですけども、どちらも非常に真剣に、熱心に、静かに聞いていただけました。これはひとつはすごく意外だったんですけども、その、静か、というのがどっちかというと、非常に教師の方々が気を使っているのをひしひしと感じました。(笑) 私達がこうおはなしをしていると、教師の方も一緒におはなしを聞いていただけたらうれしいんですけども、教師の方は生徒のほうを見ている。生徒のほうに「静かにせえよ」と目で合図をしているのがすごくよくわかる状況で、そのせいか最初はどちらも緊張していたのが、それが段々ひとつずつおはなしを聞くにつれてほぐれていって、「つ

くづくづくし」でけっこうよくほぐれたな、という感じがしました。ひとつめの学校では「つくづくづくし」でリズムをとって机をたたいてフィーバーするクラスが出てきてしまって、後のおはなしが短くなってしまふということが起こりましたので、2校目のほうでは少しそれを抑えてというような形で進めました。

それと、もうひとつ感じましたのは、やっぱり中学生、非常に興味をもつ子どもと、そうでない子、体格にしても大きな子と小さな子、非常に差が出てきている年頃ですので、いろいろなジャンルのものを持っていかないといけないな、という気がいたしました。こんな感じで進めて、最後は本当にこやかな形で終わらせていただいて気持ち良かったんですけど、表面だけじゃないことを気にはしておりました。個人的には知ってる生徒も何人かいましたので、聞いてもらったら、おばちゃんたち楽しいことしにきてくれたわという風な感想を言ってくださっているようなので、ちょっとホッとしながら終わったというかたちです。

ただ、最後に私たちの感想としてありますのは、ひとつは先程申しあげましたような、学校側の考え方として、静かに聞くことがいいことだ、というような、感覚ってやっぱりあるんですよ。「静かに

聴いていただきました」というふうに先生に言いましたら、「やあ、それを聞いたらみんな喜ぶと思います」というふうにおっしゃったんですけども、必ずしもいい意味で私達は言ったつもりではなかったんですけども、そういうふうにお答えいただいたということは、やっぱりかなり緊張して受け入れられてたのかなあ、本を読むというのに対してもちょっと硬く捉えられているんじゃないかな、という気がしました。

それと私たち自身も、準備の会で図書館の司書さんといろいろお話をしながら中学生向けの本を選定して、かなり今回はいろいろな本も読みました。私たちの時代に比べていろんな新しい本が出ていて、あ、こんなおもしろい本もあるんだな、というものもたくさんありました。そういうことを思うと、やはり、中学生でも本というのは専門家、学校の司書の先生ですとかがきっちり把握し対応して進めていっていただかないと、あくまで私たちは動機付けということになるかと思いますので、このあとのフォローとかをどういうふうにしていったらいいのかな、私達はどうでいいのかな、ということもこれから模索していきたいと思えます。以上で報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○ 意見交換

(1) 学識経験者からの助言

脇谷邦子（同志社大学嘱託講師）

- ・大阪市のような大きな市で、これだけ各区できちんと読書活動推進ということで展開されておられるということはとても素晴らしいことだと思う。
- ・ボランティアの協力によって、学校図書館の開館時間が増えている、それから読書が好きだとか本を読む子が増えている、これはやっぱり取り組みだことの成果だと思う。
- ・学校図書館で多くの方が入っていただくときに、そのボランティア間の目的意識を共有化すること、子どもの人権、読書の秘密を守る、といったことも一緒に考えていくことが課題ではないか。
- ・気になるのは、学校の先生が、ボランティアや図書館の積極的な活動のなかに、どうやって入っていくのか、ということ。先生に読書の意義ということを十分に理解していただき、ボランティア、図書館、それから先生、この三者がもっと緊密に目的意識や情報を共有化することが必要ではないか。また、授業にも本を使っていることで本の面白さということを伝えてい

ただけると思うので、先生の役割をこれから考えていただきたいと思う。

- ・中学校での試みも興味深く聞かせていただいたが、これから始まるのだ、と感じた。ブックスタート事業によって乳幼児期からの読書の大切さということは知られてきた。これからは中・高校生、いわゆるヤングアダルトの読書が課題になるだろう。
- ・子ども読書活動を推進することの意義は、長いスパンで考える必要がある。学力テストの成績等目先のことだけではなく、「きちんと人が生きるうえで、読書がさまざまな面でプラスになる」という確信を持って、これからも根気強く進めていきたい。いろいろなところでいい実践を重ねておられる、こういう実践をもっともっと広めたらいいと思う。

木原俊行（大阪教育大学教授）

- ・教育委員会、図書館、あるいはボランティアの方々の力によって、子どもの読書活動が極めて良い方向に進んでいるということがよくわかった。子どもが本を読むことや絵本を身近に置くことを望んでいるという実態、彼らにとってそれは楽しいことなのだという可能性、人間と本

との関わりの原点というものを再確認させていただいたように思う。

- ・ 誰しもがだんだん大きくなってくると本と距離を置きがちだが、例えば、パスポートを作ってみるだとか、スタンプを押すという行為によって、また本を身近に感じるようになり、そうした距離感は小さくなると思う。そうした仕組みを通じて子どもと本との距離が近づくというアプローチは、社会教育らしいなと感じる。おそらく学校の先生方には、スタンプを押すといった方法は競争心をあおるのではないかと少しおよび腰になる部分がある。私は学校の先生方と一緒に教育研究を推進しているが、それとは違った立場から皆さんにご支援をいただくことで、子どもの読書活動の取り組みというのが良くなっていくと感じた。
- ・ 子どもの学力の向上に読書を直接結びつけなくてもよいというご指摘もあるが、あえて欲張って結び付けるとしたら、ふたつのことを考える必要がある。ひとつめは、私たちが小学生、中学生数千人を対象として、読書量と読解力、あるいは教科の学力を測定したところ、子どもたちの学力は、ある程度は読書量が規定しているが、一定程度の量を満たせたら、それ以上たくさん読むかどうかは学力の高低を規定していないということが明らかになった。何が学力をより強く規定しているかということ、いろいろなジャンルの本を読んでいるかどうかということだった。ジャンルが多い方が、子どもたちの学力が高いという結果からすると、読書の質の関連を考えねばならないと思う。
- ・ もうひとつは、テストは書かないといけないので、本を読んで自分の中で生まれてきた思いや考えを文字や音声で表現していくプロセスが必要になることだ。これは先程のご指摘によれば、学校の先生の役割かもしれないが、読むこと、書くこと、そして話すことを、総合的に子どもと読書活動の関わりのなかに築いていくことが、なお一層望まれると思う。
- ・ 読書の対象が紙媒体の本だけではなく、マルチメディア絵本やネット図書といったデジタルな方向性が、読書という世界の中でも芽生え、広がっていると感じる。子どもの読書活動の推進を考えると、その側面からも切り込みをいれていかなければならないのではないか。それを他の営みに任せようとするのも一つの考え方であるし、皆さんの活動の中にそういうことを取り込んでいくアプローチもあると思うので、今後またご検討いただければと思う。

(2) 大阪市生涯学習推進員協議会、 大阪市PTA協議会からの発言

①大阪市生涯学習推進員協議会から

- ・ 大阪市生涯学習推進員として読み聞かせを進めている。
- ・ 学校図書館の活性化は来年度 200 校に増えていくということだが、いかに充実していくかということが大切だと思う。はぐくみネットや生涯学習と同じように、学校、地域、家庭が連携して進めるなか、学校の先生も一緒に取り組んでもらい、子どもたちを育てていきたい。
- ・ 西淀川区の発表は、区をあげてやっていると感じた。ボランティアの方々が生涯学習ルームで読み聞かせの講座を実施しておられる小学校は、読書活動に地域の方がどんどん入って来られていろんな指導をされている。それには、図書館との関係がないとうまくいかない、司書としての経験を踏まえ、人権などの問題もおさえながら、家庭・地域・図書館・学校というかたちで進んでいってほしいと思う。
- ・ また住之江区からの発表を聞かせていただき、なるほどなと思うことも多くありうれしく思った。大きな子どもが小さな子どもに読み聞かせすると、小さな子どもが図書に夢中になる、とも聞いている。小さな時から読書が面白くなると、どんどん広がっていくんじゃないか、中学校にあがると今度は小学校の子どもを見ていただけんじゃないかなあとも思う。
- ・ 西淀川区で生涯学習のボランティアをさせていただいており、私も連絡会の中に入れていただいている。図書館に集まっておられるボランティアの方々は若い。若いお母様達が一生涯懸命というところを見させていただき、実に血が活性化すると言うか、生涯学習の推進員の皆さんともども、すごくうれしく感じている。
- ・ 3月 14、15 日に生涯学習の「子どもフェスティバル」をさせていただき、西淀川区のパタポンさんというおはなしのグループに、地域連携のプログラムとして出演していただき、三つのおはなしをしていただいた。私達の地域の、昔から伝わっている地域のおはなしをパタポンさんに語っていただいたら、こんなにもよくわかるのかと感動も覚えた。私たちが人を集めたり、協力もさせていただくので、いろんなところで発表してくださいとお願いしている。
- ・ 私たちみたいに子育てを終えたというか終えかけてる歳の間人にとっては、中学生って一番むずかしいのねっていうふうなことしか耳に入っていない。そこへ絵本の読み聞かせを持っていったってところがすばらしいなと思った。

- ・これからも活動を続けていかれるなかで、生涯学習に協力してほしいとか、いろんなことを言っていたら、一緒に考えていこうではないですかと生涯学習の皆さんにも伝えてあげていきたいと思う。

②大阪市PTA協議会から

- ・3つの事例の発表があって、まず第1番に、PTAという姿が見えてこないということが、私PTAとしては非常に歯がゆく感じた。どこかの地域でPTAが比較的主体になって動いているところがあるんじゃないか、そういったところのお話を是非期待したい。
- ・中学校でおはなし、読み聞かせをしていることを大変興味深く思う。ひとつ聞きたかったのは、中学校1年生のお子様がお母様のおはなし会を聞いて、どういう感想お持ちになったか、後で聞かせていただければと思う。
- ・子どもたちの読解力に図書、本を読むというのは大変重要な意味があることだけは分かってきており、学校の先生方がどのように関わっていくか、関わらせていくか、PTAとしてかなり重要な課題になるんじゃないかと感じている。まだどうするかということが見えてこないの、是非こういう活動に関わらせていただいてヒントをいただいきたい。
- ・西淀川区のPTA協議会会長もしており、来年度は絵本展を金・土にされるとお聞きしたので、その中でPTAも協力して、皆さんと行きたいと思う。
- ・自分自身本が大好きで、こんなにたくさんいろんな活動事業をされておられるということに関心を持った。学校とPTAとボランティアの方々と一緒に取り組みを進めれば、ますます良いものができあがると思うので、みんなで協力して、子ども達のために良い結果を残せるようやっていけたらいいと思う。
- ・私も中学の子を持っており、携帯の小説は読んだけど、本は読めないという子もたくさんいるようで、これからの読書についての課題じゃないかとすごく思う。ゲームでも文学全集もあり、本を読んでもことにならないのか、活字追ってるとしなあとか、自分の中で悩むことがある。皆さんと一緒にPTAとして頑張っていきたい。

③各区代表者からの質問、意見

- ・学校の先生方やPTAのかかわりについて（事務局からの補足）
ボランティアの皆さんとの連絡ノートをつくって連絡をとりあっている学校がある。

ボランティア募集をはぐくみネットやPTAの広報紙に載せる等、広報の仕方もさまざまであると認識している。

小学校では、授業時間中の関わりはなかなかできないけれども、図書館主任の教員を通していろいろ相談していただき、共に困っていること、もっと学校図書館を良くしたいということで協力していけるところがたくさんあるのではないかなと思っている。

図書館活性化事業のボランティア募集について、PTAを通じて行っている小学校が多い。また、PTA文庫を学校図書館の中に移して、親子共に読書活動ができないかということを検討されている学校もあり、PTAの活動のなかでもご報告していただければと思う。

・中学校での読み聞かせについて

読み聞かせに出向いたのは、自分の子どもが通う中学校ではなかった。小学校では、高学年になるにしたがって「お母さん恥ずかしい」というような意見がやはり大きくなっていった。ただ、今回読むにあたって、子どもの友達3人程に読み聞かせをしてこの絵本で本当にいいのかどうかを検討する、という経緯はあった。

・中学校の学校図書館について

中学校の図書活動は本当に停滞している気がする。そこでPTAの方で、図書館の活性化をしたいという気持ちが去年から出てきて、話が盛り上がっているが、学校図書館活性化事業の中学校版、というような計画はあるのだろうか。

【事務局】御指摘のように中学校における学校図書館の活性化について、教育委員会としても課題と認識し、小学校でのノウハウを活かしながら進めていかなければいけないなど問題意識として持っている。小学校と同じ形にはなりにくい側面があるが、21年度から中学校において学校元気アップ地域本部という事業を考えている。来年度8校で、なんらかの地域の方々のご協力を得ながら、学力や読書指導、地域学習など、いろいろなメニューで学校を支援していただきたいと考えている。

・小学校での読み聞かせ後の「置き本」について

小学校に読み聞かせに行き、プログラムの本を置いて帰ってほしいという学年には図書館から借りた「置き本」を用意して持っていく。最近「置き本」の希望が減ってきている。期限が来たら学校が図書館へ返却していただくというシステムになっており、返すのにちょっと手間がかかるということが原因かな、と感じている。

子どもたちは読み聞かせが終わったら本に群がってくるので、やっぱり読み聞かせした本を置いていって、子どもたちに手に取って読んでもらえるのがベストだと思う。私たちボランティアで回収することも考えてみたが、ちょっと難しい。いい返却方法が考えられないかなと思っている。

「置き本」について、先生方も本当に忙しいから、ボランティアで回収すればよいと思う。

私たちは16校に出かけており、回収する時間的に余裕がないので、他でどうされているかお聞きしたかった。

【事務局】従来から学校現場から、図書館と学校との間で搬送手段が必要だと声をいただいております。何とかできないかという検討を行っている。ただ、財政的な事情もあり、たくさんの本が運送便で随時行き来するということは難しいかなと思うが、少しずつでも、学校と図書館との搬送手段について検討を進めていきたい。

・学校図書館の蔵書の把握について

学校図書館にある本が把握できたら、読み聞かせにいったとき、子どもたちに学校図書館にもあるから聞いてみてね、とか声かけができる。図書館とそのような連携ができないものだろうかと思う。

学校の蔵書の調べをボランティアでやっており、1年目は低学年図書3～4千冊余りをコンピュータに入力したが、まだたくさんの本が残っている。例えばバーコード化して図書館のように蔵書をコンピュータに入力する、というようなことは考えていないのか。

【事務局】市内299校の小学校のうち、48校がデータベース化していると回答を得ているが、特別な予算がついてるわけではなく、学校の経費の中、もしくはボランティアさんの協力の中で実施されていると考えている。

いずれにしても、子どもたちが興味を持って本に親しめる、本当に子ども達が見たい本がある図書館にしていくために、廃棄とそれから購入については適切に行うように指導してまいりたい。

・子どもの読書活動を支えるスタッフについて

学校で本の選択がきちんとできて、渡していただける、そういう関係ができるスタッフを配備していただきたい。

【事務局】指導部の初等教育担当の学力向上ラインに図書館から司書を4名配置されており、活性化事業の各校もまわらせていただいて、活動の手助けもさせていただいている。

・PTA活動との連携

蔵書のデータベース化について、PTAも検討していただけたら。

PTA活動に図書の委員会もあり、保護者に本を貸し出すだけでなく、絵本の良さの講座を組むとか、PTAのほうも目を向けてもらえるような仕組みが考えられたらいいなと思う。

(敬称略)

平成20年度 大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ(平成21年2月末現在) 1/2

	館内の催し(実施件数) (子ども読書の記念事業、大阪市図書館フェスティバル含まず)						子ども読書の記念事業(春)		大阪市図書館フェスティバル(秋)		幼児期読書環境整備事業 (実施施設数/対象施設数)			ブックスタート 事業実施日	学校との連携 (件数)						
	紙芝居、絵本の読み聞かせ等	乳幼児おはなし会	ストーリーテリング等	工作教室	おりがみ教室	その他	内容	参加者数	内容	参加者数	幼稚園	保育所	その他子育て支援施設		団体貸出件数(校数)	貸出冊数	図書館見学	調べ学習支援	おはなし会等読書支援	体験学習	図書主任会への参加
中央図書館(西区)	85	20	9	1	0	2	富安陽子講演会「妖怪とのつきあひ方教えます。」 春のおたのしみ会	103 114	音楽と絵本を楽しむX 観たい! 知りたい! 狂言入門 「器をつくろう」~クラフトパーク出前講座~ 図書館たんけん隊!	180 220 39 72	5/5	2/6	1	第1水曜	18	1,131	21	8	0	4	0
北図書館	35	112	0	21	0	0	春のこども会	37	どんぐりんの人形劇とラブリーシアター	55	4/4	2/9	3	第1金曜	7	1,780	12	25	4	3	0
都島図書館	42	11	0	0	0	1	バクバク人形であそぼ!	25	人形劇	70	1/1	4/10	2	第3水曜	5	607	10	0	3	0	1
福島図書館	47	10	2	1	0	0	ま〜るま〜るのおたのしみかい	75	バルーンで動物をつくろう	25	2/3	7/8	1	第1水曜	7	849	10	0	34	1	0
此花図書館	47	10	0	4	0	7	春のおたのしみ会	32	秋のおたのしみ会	24	1/1	7/15	1	第2火曜	3	230	4	1	4	1	0
島之内図書館(中央区)	41	10	0	0	0	1	おたのしみ会	9	「かわいい猫のメモスタンドをつくろう」	20	5/6	2/3	1	第3火曜	7	513	3	10	15	1	1
港図書館	50	11	0	1	0	0	春のこども会	16	秋の子ども会	11	0/1	6/13	1	第4水曜	7	730	5	0	33	4	0
大正図書館	15	41	22	1	10	3	ストローでカードケースをつくろう	13	折り紙教室	27	5/6	12/12	1	第1火曜	8	1,393	12	0	70	4	0
天王寺図書館	62	10	1	1	1	1	ぼちぼちのたのしいおはなし会	36	絵本の会・天王寺によるお楽しみ会	22	5/5	4/6	1	第3月曜	10	5,477	4	0	9	5	1
浪速図書館	47	11	0	1	1	0	牛乳パックでカラクリ人形	13	ぐるーぶ!劇場	30	3/3	12/12	2	第1水曜	4	225	4	2	6	2	1
西淀川図書館	56	39	16	3	0	3	ハーブとおはなし	85	ミニ風車で作る風を体験しよう エコ素材で作るクリスマスリース	13 20	3/3	11/13	1	第4火曜	11	980	15	0	76	3	3
淀川図書館	33	31	0	1	2	0	むか〜し昔、あったとき	32	-	3	3/3	12/19	2	第1火曜 第3火曜	13	2,026	9	0	0	4	1
東淀川図書館	46	22	1	1	1	0	おはなしたのしいな!	54	ギター・マンドリンとえほんのじかん	38	0/0	8/28	1	第2水曜 第4水曜	11	736	17	9	58	3	2
東成図書館	52	11	1	1	0	1	こどもまつり	95	どんぐりんの人形劇とラブリーシアター	69	4/5	4/9	1	第2木曜	14	2,335	4	10	8	3	3
生野図書館	27	12	0	2	6	1	春のこども会	27	秋の子ども会ぐるーぶ!ぬ!」けきじょう	24	1/1	5/25	2	第1水曜 第3水曜	10	916	9	0	33	4	1
旭図書館	50	11	0	1	9	2	どんぐりんの人形劇とラブリーシアター	81	落語であそぼう!	38	1/1	8/14	2	第4木曜	13	1,628	5	17	64	8	2
城東図書館	48	11	1	1	0	2	春のこども会	36	秋のこども会	33	2/2	5/18	2	第1月曜 第3月曜	13	1,908	16	4	9	3	0
鶴見図書館	48	6	3	3	3	2	ちいさな子のおたのしみ会 でんでんむしのおはなし会	89 18	“くみどり”のおはなしとんどこライブ	58	1/1	5/15	2	第2月曜 第4月曜	12	1,005	14	5	9	5	1
阿倍野図書館	45	33	8	0	0	0	おはなし大会 午前の部 おはなし大会 午後の部	66 26	-	0	0/1	3/13	1	第1木曜	8	1,064	9	17	14	5	0
住之江図書館	51	11	0	2	0	1	えほんで遊ぼ!	61	くみどりのおたのしみ会	52	1/1	4/19	2	第2火曜 第3水曜	7	1,522	11	11	6	2	3
住吉図書館	60	51	0	2	2	4	特別お話し会① 特別お話し会②	24 50	ねこの人形づくり教室	26	2/2	4/19	5	第2木曜 第4木曜	16	2,494	9	11	23	0	2
東住吉図書館	65	11	0	0	1	0	えほんどうぶつ園に行くぞっ!	44	“くみどり”のおはなしとんどこライブ	26	0/0	10/17	3	第1月曜 第1水曜	12	4,058	8	49	76	4	1
平野図書館	74	35	0	12	10	1	キッズシアターかみふせんのおたのしみかい	80	秋のあつぷり劇場 工作教室 おたのしみ会 おりがみ教室	79 25 10 30	6/6	12/32	3	第1金曜 第3金曜	21	5,583	8	0	89	7	0
西成図書館	43	11	1	0	0	0	子ども読書の日記念おたのしみ会	29	手作りおもちゃであそぼう2008	16	3/3	14/19	4	第4火曜	4	449	4	0	14	5	0
合計	1,169	541	65	60	46	32		1,370		1,352	58/64	163/354	45		223	38,508	202	171	657	77	23

平成20年度 大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ(平成21年2月末現在) 2/2

	学校図書館活性化事業実施校			ボランティア養成・ステップアップ		区の子どもの読書活動推進連絡会開催日	自動車文庫ステーション数
	18年度継続校	19年度継続校	20年度新規校	回数	参加者(延人数)		
中央図書館(西区)	本田	—	九条南	29	1359	2月17日	1
北図書館	堀川	菅北	豊仁、中津南、弘済	6	57	3月18日	2
都島図書館	都島	桜宮	友淵、東都島	9	158	3月17日	3
福島図書館	大開	—	玉川、上福島、野田	15	177	2月26日	0
此花図書館	春日出	伝法	高見	10	67	2月24日	2
島之内図書館(中央区)	中大江	開平	—	7	33	11月7日 3月6日	1
港図書館	波除	弁天	港晴、八幡屋、南市岡	14	105	21年4月予定	2
大正図書館	泉尾東	三軒家東	泉尾北、鶴浜、北恩加島	30	343	3月5日	2
天王寺図書館	五条	天王寺	—	8	52	1月16日	1
浪速図書館	敷津	日東	難波元町、大国、恵美	8	60	2月13日	1
西淀川図書館	姫里	福、佃西	歌島	5	92	3月3日	3
淀川図書館	西三国	加島、木川、宮原	三国、神津、三津屋、十三	23	291	11月27日 2月24日	6
東淀川図書館	井高野	菅原	東淡路、豊新、小松	10	192	3月6日	11
東成図書館	—	片江	神路、東中本、北中道	11	92	3月18日	1
生野図書館	—	中川	北鶴橋、東小路、勝山、西生野	18	128	7月8日 2月24日	2
旭図書館	大宮西	清水	新森小路、高殿南	15	202	9月4日 2月20日	1
城東図書館	東中浜、聖賢	—	鯉江東、榎並、森之宮	18	132	9月22日	7
鶴見図書館	みどり	今津	鶴見	6	37	6月10日 12月4日 3月5日	3
阿倍野図書館	常盤	晴明丘	丸山、晴明丘南、阪南、長池	8	92	2月25日	4
住之江図書館	住吉川	—	南港渚、平林、加賀屋	3	46	3月6日	5
住吉図書館	南住吉	南住吉大空、山之内	遠里小野	4	47	3月4日	8
東住吉図書館	東田辺、矢田西	—	今川、矢田東、南百済	24	174	3月6日	3
平野図書館	長吉南	平野南、平野西	加美北、喜連東	10	107	2月26日	10
西成図書館	長橋	梅南	岸里	5	49	3月10日	2
合計	24校	24校	54校	296	4,092		81

平成21年3月23日

大阪市子どもの読書活動推進連絡会報告

平成20年度子ども読書活動推進事業について〔市民学習振興担当分〕

1. 事業名 「大阪市子ども読書活動推進計画」の普及啓発

2. 事業内容

「大阪市子ども読書活動推進計画」の普及啓発のため、『子どものための
施設ガイドタッチ』に啓発記事（2ページ）を掲載し配布

- (1) 発行部数 205,000部
- (2) 発行日 平成20年4月28日
- (3) 配布先 市立小中学校全児童生徒、市立図書館ほか
- (4) 内容詳細 裏面のとおり

大阪市立の図書館

中央図書館 9:15～20:30 (土・日・祝・休日は17:00まで)
 児童図書館 10:00～19:00 (土・日・祝・休日は17:00まで)
 中央図書館 全館 (祝・休日は閉館)・月末・年末年始・選挙日後期間
 児童図書館 月曜 (祝・休日は閉館)・月末・年末年始・選挙日後期間
 地域図書館 地域図書館



中央図書館	〒550-0014 西区北堀江4-3-2 (地下鉄南堀江)	TEL: 6539-3300 FAX: 6539-3335
北図書館	〒591-0074 (市) (以心寺町/丁目) 北区本庄東3-8-2	TEL: 6371-3177 FAX: 6371-3177
都島図書館	〒594-0027 (市) (以心寺区役所前) 都島区中野町2-16-25	FAX: 6354-3229 TEL: 6354-3229
福島図書館	〒593-0005 (市) (南堀江駅前、南堀江) 福島区吉野3-17-23	TEL: 6468-2336 FAX: 6468-5191
此花図書館	〒554-0014 (原千早橋) 此花区四貫島1-1-18	TEL: 6463-3463 FAX: 6463-9688
島之内図書館	〒543-0052 (地下鉄島之内) 中央区島之内2-12-31	TEL: 6211-3645 FAX: 6212-5449
港図書館	〒552-0007 (地下鉄・JR中央) 港区弁天2-1-5	TEL: 6576-2346 FAX: 6571-7915
大正図書館	〒591-0003 (市) (以心寺区役所前) 大正区千鳥2-6-15	TEL: 6552-1116 FAX: 6551-9362
天王寺図書館	〒549-0037 (南堀江駅前、道土堀) 天王寺区上之宮町4-4-7	TEL: 6771-2840 FAX: 6771-3801
浪速図書館	〒556-0015 (地下鉄大塚町) 浪速区駒津西1-5-23	FAX: 6632-4946 TEL: 6632-4946
西淀川図書館	〒565-0012 (JR新島橋) 西淀川区御幣島1-2-10	TEL: 6474-7900 FAX: 6477-0463
淀川図書館	〒592-0085 (原屋十三) 淀川区新北野1-10-14	FAX: 6305-2346 TEL: 6305-9129
東淀川図書館	〒593-0023 (原島渡船) 東淀川区東淡路1-4-53	FAX: 6323-5476 TEL: 6323-1738
東成図書館	〒537-0014 (地下鉄南今里) 東成区大今里西3-6-6	TEL: 6972-0727 FAX: 6972-0278
生野図書館	〒544-0021 (市) (以心寺地蔵) 生野区駒山南4-7-11	TEL: 6717-2381 FAX: 6717-3119
旭図書館	〒595-0003 (市) (新島渡船西ヶ丘前) 旭区中宮1-11-14	FAX: 6955-0307 TEL: 6955-0287
城東図書館	〒536-0005 (地下鉄南港南団丁目) 城東区中央3-5-11	FAX: 6931-6466 TEL: 6932-8871
鶴見図書館	〒538-0052 (地下鉄鶴見) 鶴見区構橋5-3-15	FAX: 6913-3975 TEL: 6913-0772
阿倍野図書館	〒545-0052 (地下鉄阿倍野) 阿倍野区阿倍野筋4-19-118	FAX: 6656-1043 TEL: 6656-1009
住之江図書館	〒559-0015 (地下鉄住之江公園) 住之江区南加賀屋3-1-20	FAX: 6683-8840 TEL: 6683-2788
住吉図書館	〒558-0041 (船場尻町) 住吉区南住吉3-15-57	FAX: 6606-6987 TEL: 6606-4946
東住吉図書館	〒546-0032 (市) (以心寺区役所前) 東住吉区東田辺2-11-28	FAX: 6699-3222 TEL: 6699-7000
平野図書館	〒547-0043 (原屋三郎、市庁舎第一層) 平野区平野東1-8-2	FAX: 6793-0881 TEL: 6793-0881
西成図書館	〒557-0041 (地下鉄西成) 西成区岸里1-1-50	FAX: 6659-8599 TEL: 6659-2346

すべての子どもたちが 読書に親しめる 環境整備を図ります

大阪市では、「大阪市子ども読書活動推進計画」
 (H18.3月)にもとづいて、すべての子どもたちが読書に
 親しめる環境整備を進め、さまざまな活動を展開しています。



イベント開催
 図書館では、絵本の読み聞かせや
 紙芝居、人形劇など、子どもたちが本
 や物語に親しむきっかけづくりとな
 るイベントを随時開催しています。



図書館へ行けば、夏休みの課題や日頃
 のちよとした疑問に役立つ調べ物がで
 きます。図書館のコンピュータ「オムリス」
 や自宅のインターネットからは、中央図書
 館だけでなく、市内にある地域図書館の
 本も調べることができます。



探している本が見つからなかったり、ど
 の本で調べればいいのかかわからないとき
 は気軽に図書館の職員に聞いてください。



子どもの本のおすすりリスト「こどものほんだな2008」
 を各館にて子ども読書の日(4/23)から無料で配布します。

平成 21 年 3 月 26 日
平成 20 年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会
於：大阪市立中央図書館 5 階中会議室

平成 20 年度 学校図書館活性化事業のまとめ

1. 本事業の趣旨

学校・家庭・地域が連携して、児童が最も身近に本に接する場所である学校図書館の整備をはじめとする読書環境の充実を進め、児童の読書意欲の醸成と読書習慣の確立を図る。

2. 本事業の背景

本市教育委員会では、平成 18 年 3 月に「大阪市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもたちが自主的に読書に取り組むことができるよう、家庭・地域・図書館・学校が連携・協力して子どもの読書環境の整備・充実に努めてきた。その一環として、平成 18・19 年度に「学校図書館支援モデル事業」を実施して、学校図書館の開館時間の延長をはじめとする児童の読書環境の整備に取り組んできた。

一方、平成 19 年度の「全国学力・学習状況調査」において、本市では、基礎的な「知識」の問題に比べ、思考力・判断力・表現力等が問われる読解や記述式の問題、知識・技能を「活用」する問題において課題がみられる、という結果が出ており、すべての学力の基礎となる言語力の向上が喫緊の課題となっている。

同調査の分析において、読書活動が言語力の育成と深く関わっていることが指摘されているが、本市においては、読書が好きと回答した児童の割合は全国平均より低く、さらに家や図書館で普段、読書を全くしていない児童の割合は全国平均より高いという結果が出ており、児童の読書意欲の醸成と読書習慣の定着を図ることが、言語力ひいては学力の向上に不可欠である。

こうした実情をふまえ、さらに「学校図書館支援モデル事業」の成果と課題を引き継ぎ、平成 20 年度より新たに「学校図書館活性化事業」を実施している。

本事業は、平成 21 年度には 200 校、平成 22 年度には大阪市立全小学校での実施を予定している。

3. 平成 20 年度実施校

別添「平成 20 年度 学校図書館活性化事業実施校一覧」参照

4. 学校図書館支援ボランティアの活動状況

◆ボランティアによる学校図書館の開館状況

(別添「平成 20 年度 学校図書館活性化事業 中間報告 4-1」 参照)

- ・7 割以上の学校で、ボランティアによる学校図書館の開館が行われている。
- ・開館時間帯は、昼休みが最も多く、次いで、業間の休み時間（いわゆる「15 分休み」「20 分休み」）、放課後、となっている。
- ・開館時間は 1 校につき、週あたり平均 90 分となっている。

◆ボランティアによる読み聞かせの状況

(別添「平成 20 年度 学校図書館活性化事業 中間報告 4-2」 参照)

- ・7 割近くの学校で、ボランティアが授業時間以外での読み聞かせを行っている。
- ・授業時間以外の読み聞かせの時間帯で最も多いのは始業前であり、次いで業間の休み時間、昼休み、となっている。
- ・一方、授業時間での読み聞かせは、3 割以下にとどまっている。

5. 「学校図書館支援ボランティア講座」の実施について

◆実施状況について

- ・6 割以上の学校が、学校図書館支援ボランティア講座を開催しており、時間数はのべ 240 時間にのぼる（3 月 18 日時点数値 実施予定も含む）。

◆講座の内容について

(別添「平成 20 年度 学校図書館支援ボランティア講座一覧」参照)

- ・新規校の必須講座（「1 ボランティア活動を始めるにあたって」「2 図書の分類・整理」）を除くと、「4 絵本の読み聞かせ 1（入門編）」が最も多く、次いで「5 絵本の読み聞かせ 2（実習編）」「3 本の修理」が多い。

6. 実践交流会について

各区単位で実践交流会を開催（一部、他区と合同での開催あり）した。

実施校からは、具体的な取り組みについて報告いただき、ノウハウの共有を図るとともに、問題点について検討を行った。

さらに、本年度は、未実施校からも図書館担当教員を中心に参加いただき、来年度以降の実施に向けて、疑問点等について質疑応答を行った。

7. 本事業の効果について

(別添「平成 20 年度 学校図書館活性化事業 中間報告 5. 6. 7」参照)

◆児童の読書量について

9 割近くの学校が「よく読むようになった」と回答している。その理由としては、読み聞かせ等によって、児童が本に興味を持つようになった」が最も多い。

◆貸出冊数について

7割近くの学校が、「学校図書館での貸出冊数が増加した」と回答している。

◆開館時間について

7割近くの学校が、「学校図書館の開館時間が増加した」と回答している。

8. 課題について

◆ボランティアの確保

数値的には1校平均13名（別添「学校図書館活性化事業 中間報告 2」参照）となっているが、学校ごとのばらつきが大きいと、ボランティアの人数を増やしたいという学校が多い。

◆蔵書の充実・活動にかかる予算の確保

蔵書の充実に加えて、蔵書や貸出状況把握のための電算化を望む声が多い。図書修理等のための消耗品が必要なときに購入できるような予算の確保。

◆研修回数・内容の充実

講座が開催されても、日程が合わずに参加できないことも多い。継続校でも、新たに参加されたボランティアのための講座の機会が欲しい。

◆児童の図書館利用の促進

せっかく開放していても、児童が図書館に来ない、もしくは、限られた児童のみが利用している。

児童に積極的に来館してもらうための工夫。

北(12)	1	堀川	H18
	2	菅北	H19
	3	豊仁	H20
	4	中津南	H20
	5	弘済	H20
都島(10)	6	都島	H18
	7	桜宮	H19
	8	友渚	H20
	9	東都島	H20
福島(9)	10	大開	H18
	11	玉川	H20
	12	上福島	H20
	13	野田	H20
此花(8)	14	春日出	H18
	15	伝法	H19
	16	高見	H20
中央(7)	17	中大江	H18
	18	開平	H19
西(8)	19	本田	H18
	20	九条南	H20
港(11)	21	波除	H18
	22	弁天	H19
	23	港晴	H20
	24	八幡屋	H20
	25	南市岡	H20
大正(11)	26	泉尾東	H18
	27	三軒家東	H19
	28	泉尾北	H20
	29	鶴浜小	H20
	30	北恩加島	H20
天王寺(8)	31	五条	H18
	32	天王寺	H19
浪速(9)	33	敷津	H18
	34	日東	H19
	35	難波元町	H20
	36	大国	H20
	37	恵美	H20
西淀川(14)	38	姫里	H18
	39	福	H19
	40	佃西	H19
	41	歌島	H20
淀川(17)	42	西三国	H18
	43	加島	H19
	44	木川	H19
	45	宮原	H19
	46	三国	H20
	47	神津	H20
	48	三津屋	H20
	49	十三	H20
東淀川(17)	50	井高野	H18
	51	菅原	H19

東淀川(17)	52	東淡路	H20
	53	豊新	H20
	54	小松	H20
東成(11)	55	片江	H19
	56	神路	H20
	57	東中本	H20
	58	北中道	H20
生野(19)	59	中川	H19
	60	北鶴橋	H20
	61	東小路	H20
	62	勝山	H20
	63	西生野	H20
旭(10)	64	大宮西	H18
	65	清水	H19
	66	新森小路	H20
	67	高殿南	H20
城東(16)	68	東中浜	H18
	69	聖賢	H18
	70	鯉江東	H20
	71	榎並	H20
	72	森之宮	H20
鶴見(11)	73	みどり	H18
	74	今津	H19
	75	鶴見	H20
阿倍野(10)	76	常盤	H18
	77	晴明丘	H19
	78	丸山	H20
	79	晴明丘南	H20
	80	阪南	H20
	81	長池	H20
住之江(15)	82	住吉川	H18
	83	南港渚	H20
	84	平林	H20
	85	加賀屋	H20
住吉(14)	86	南住吉	H18
	87	南住吉大空	H19
	88	山之内	H19
	89	遠里小野	H20
東住吉(14)	90	東田辺	H18
	91	矢田西	H18
	92	今川	H20
	93	矢田東	H20
平野(23)	94	南百済	H20
	95	長吉南	H18
	96	平野南	H19
	97	平野西	H19
	98	加美北	H20
	99	喜連東	H20
西成(14)	100	長橋	H18
	101	梅南	H19
	102	岸里	H20

平成20年度 学校図書館活性化事業 中間報告

2009/1/6

調査月：平成20年11月

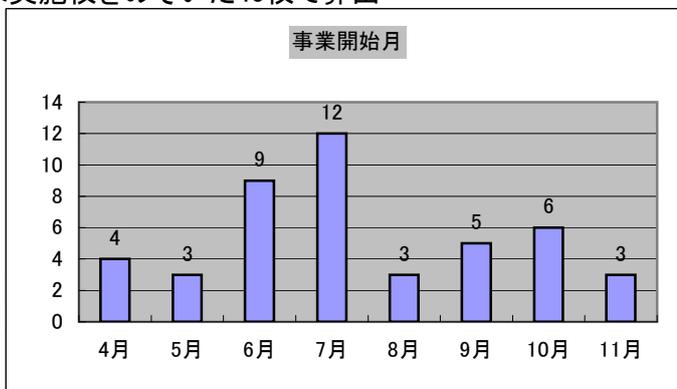
対象：平成20年度学校図書館活性化事業実施校102校

※2の設問以降は、11月時点での未実施校9校をのぞいた93校で算出

1. 事業開始月

※平成20年度開始校54校中、11月時点での未実施校をのぞいた45校で算出

4月	4校
5月	3校
6月	9校
7月	12校
8月	3校
9月	5校
10月	6校
11月	3校



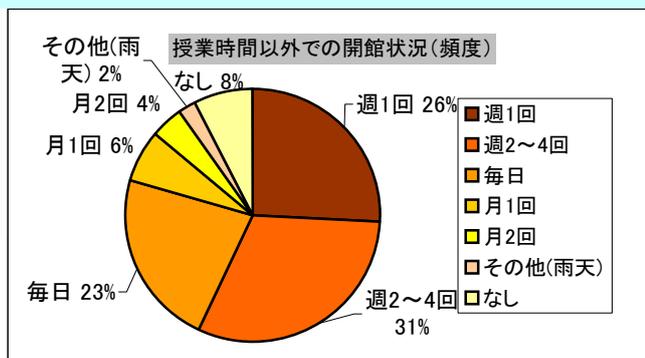
2. 学校図書館支援ボランティアの人数

合計	1175名
平均	13名

3. 学校図書館の授業時間以外の開館状況(学期中)

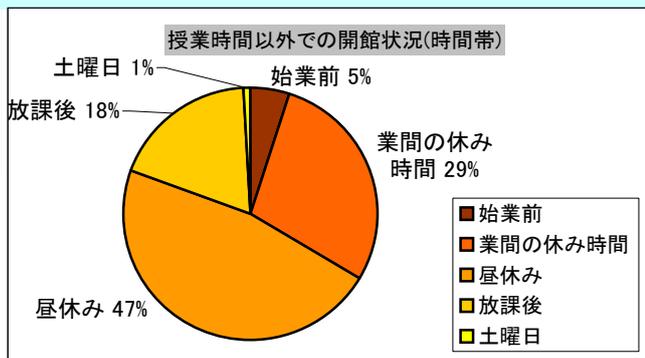
開館頻度

週1回	24校
週2～4回	29校
毎日	21校
月1回	6校
月2回	4校
その他(雨天)	2校
なし	7校



開館時間帯(複数回答あり)

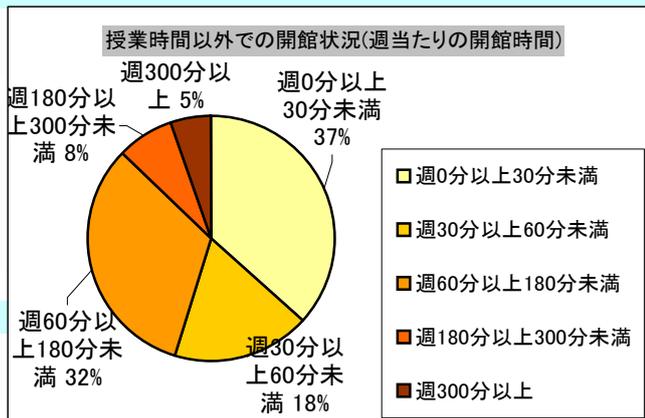
始業前	6校
業間の休み時間	34校
昼休み	56校
放課後	22校
土曜日	1校



開館時間(週当たり)

合計	8183分
平均	88分

週0分以上30分未満	34校
週30分以上60分未満	17校
週60分以上180分未満	30校
週180分以上300分未満	7校
週300分以上	5校



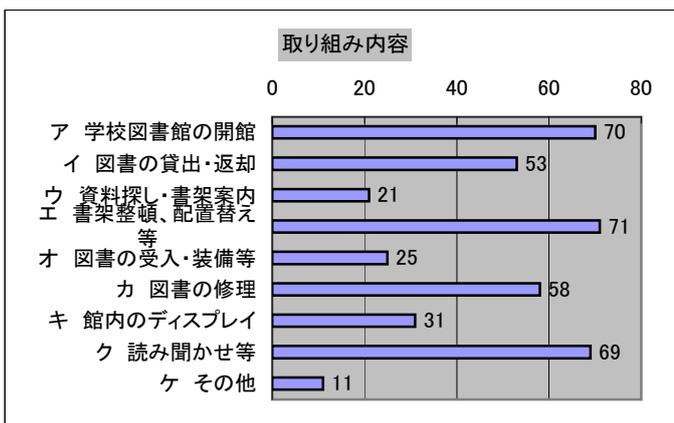
※夏休み等の開館時間(年間)

合計	70765分
平均	760分

※93校中、68校が開館

4. 取り組み内容(複数回答あり)

ア 学校図書館の開館	70 校
イ 図書の貸出・返却	53 校
ウ 資料探し・書架案内	21 校
エ 書架整頓、配置替え	71 校
オ 図書の受入・装備等	25 校
カ 図書の修理	58 校
キ 館内のディスプレイ	31 校
ク 読み聞かせ等	69 校
ケ その他	11 校

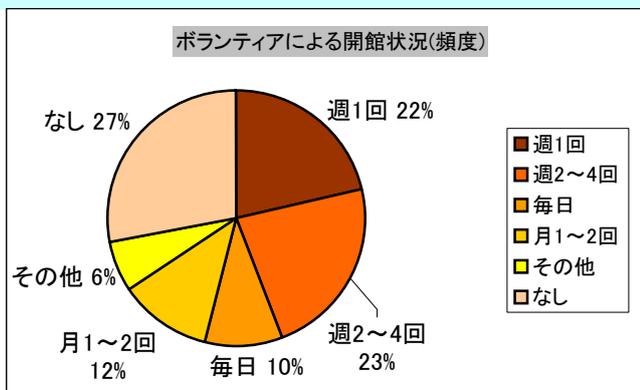


4-1 ボランティアによる学校図書館の開館状況(学期中)

開館頻度

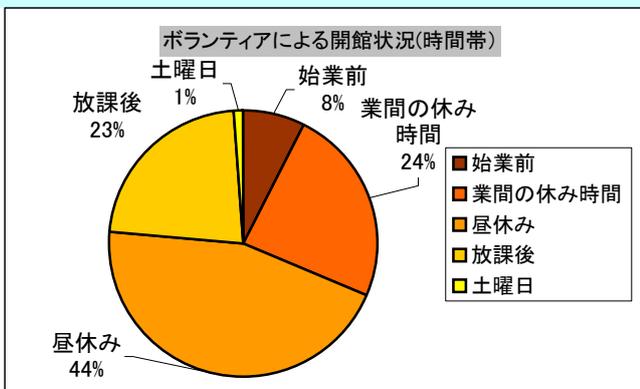
週1回	20 校
週2~4回	21 校
毎日	9 校
月1~2回	11 校
その他	6 校
なし	26 校

※その他(夏休み、月7回)



開館時間帯(複数回答あり)

始業前	6 校
業間の休み時間	19 校
昼休み	36 校
放課後	18 校
土曜日	1 校

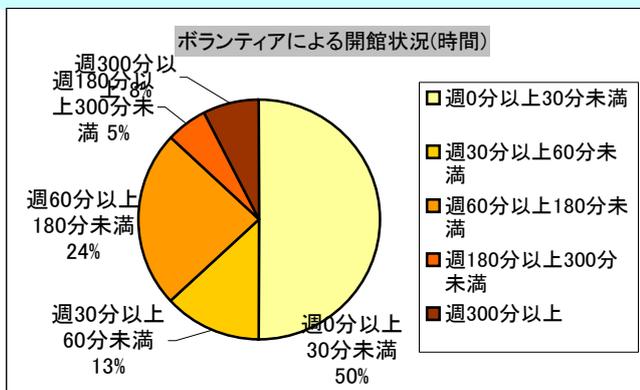


開館時間(週当たり)

合計	8365 分
平均	90 分

※夏休み等を含む時間数

週0分以上30分未満	46 校
週30分以上60分未満	12 校
週60分以上180分未満	22 校
週180分以上300分未満	5 校
週300分以上	7 校

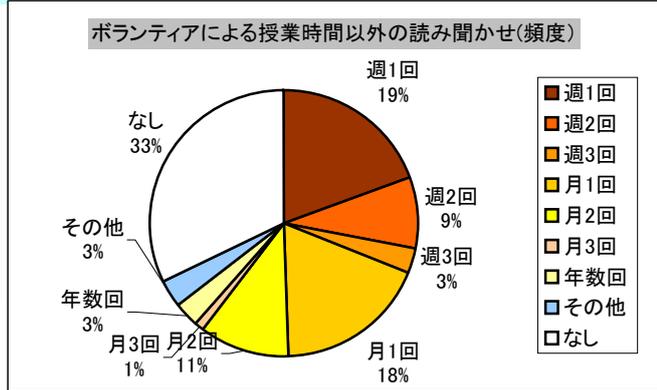


4-2 ボランティアによる読み聞かせ

①授業時間以外
読み聞かせの頻度

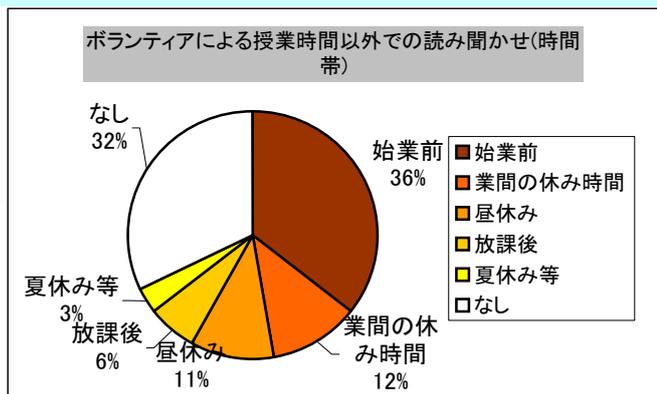
週1回	18校
週2回	8校
週3回	3校
月1回	17校
月2回	10校
月3回	1校
年数回	3校
その他	3校
なし	30校

※その他(希望に応じて、不定期)



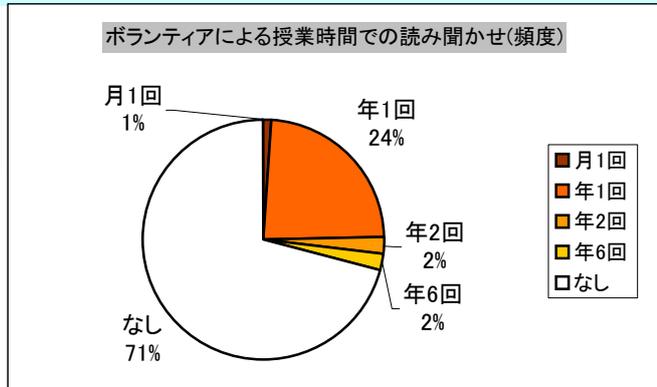
読み聞かせの時間帯(複数回答あり)

始業前	33校
業間の休み時間	11校
昼休み	10校
放課後	6校
夏休み等	3校
なし	30校



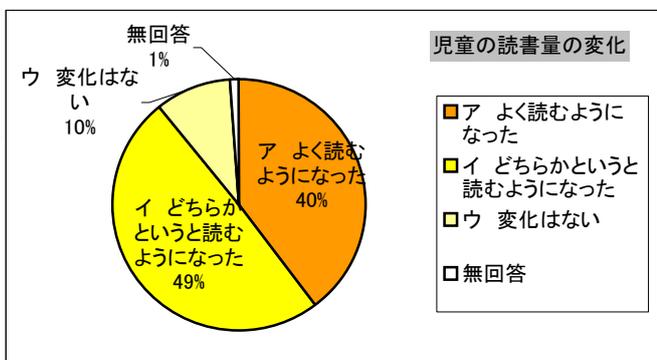
②授業時間
読み聞かせの頻度

月1回	1校
年1回	22校
年2回	2校
年6回	2校
なし	66校



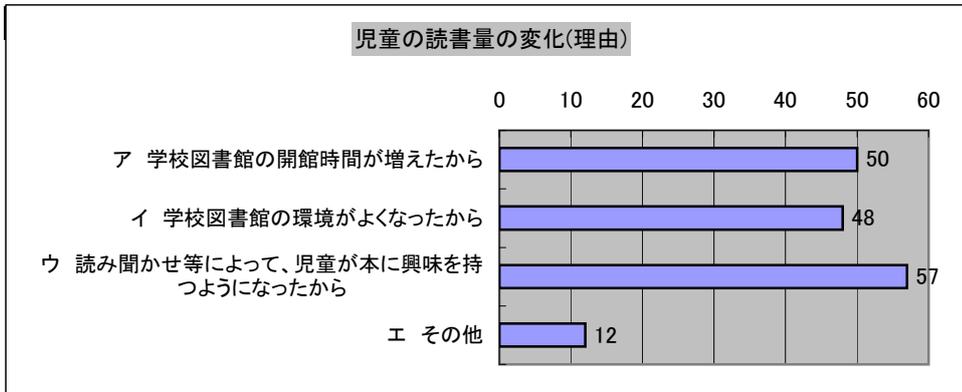
5. 事業実施前後を比較して、児童は本をよく読むようになりましたか。

ア よく読むようになった	37校
イ どちらかというと読むようになった	46校
ウ 変化はない	9校
無回答	1校



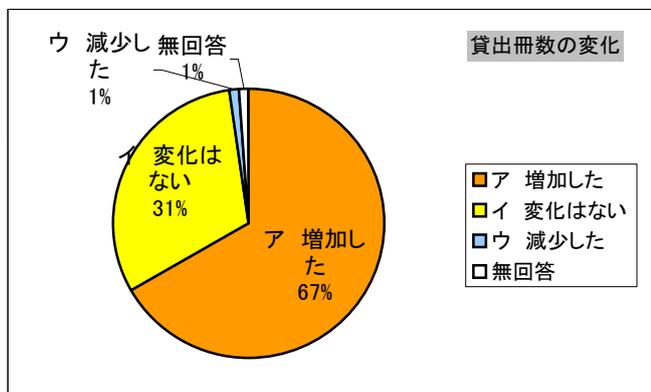
5-1 その理由

ア 学校図書館の開館時間が増えたから	50 校
イ 学校図書館の環境がよくなったから	48 校
ウ 読み聞かせ等によって、児童が本に興味を持つようになったから	57 校
エ その他()	12 校



6. 事業実施前後を比較して、学校図書館での貸出冊数は増加しましたか。

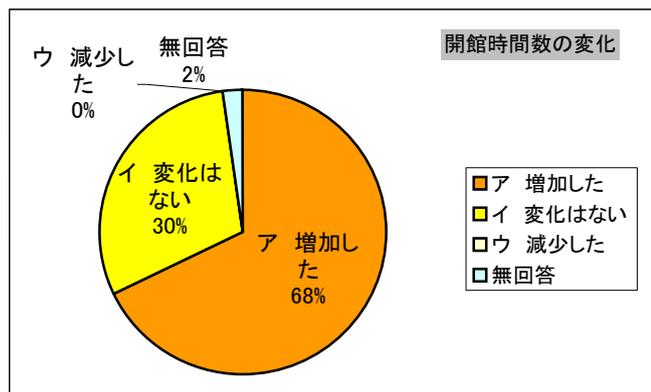
ア 増加した	62 校
イ 変化はない	29 校
ウ 減少した	1 校
無回答	1 校



7. 事業実施前後を比較して、学校図書館の開館時間は増加しましたか。増加したところは、週当たりの増加時間もお答えください。

ア 増加した	63 校
イ 変化はない	28 校
ウ 減少した	0 校
無回答	2 校

増加時間	4360 分
平均	47 分



平成20年度 学校図書館支援ボランティア講座一覧

- 1、2は新規校は必ず開催してください。
- 継続校は、どの講座も任意で選択できます。
- 4と5、8と9は、できるだけ同年度に開催してください。
- ここにあげている講座は一例です。これ以外の講座をご希望の場合は、各区市立図書館司書にご相談ください。

番号	テーマ	内 容	所要時間 (時間)
1	ボランティア活動を始めるにあたって	○ボランティアの基本的な考え方 ○ボランティアとして活動する際の心がまえ	1
2	図書の分類・整理	○本の分類（十進分類法）の基礎知識 ○請求記号ラベルの見かた ○わかりやすい配架の方法	1
3	本の修理	○壊れた本の状態に応じた簡単な修理方法 ○本を長持ちさせるためのブッカーのかけ方 ○実習	1
4	絵本の読み聞かせ1 (入門編)	○絵本の選び方 ○絵本の持ち方、めくり方、読み方等、読み聞かせの初歩	2
5	絵本の読み聞かせ2 (実習編)	○参加者による実習 ○講師による講評	2
6	おはなし(ストーリーテリング)入門編	○おはなし(ストーリーテリング)とは ○お話を聞くこと・語ることの意義 ○講師による実演	1
7	パネルシアターの 演じ方	○パネルシアターとは ○講師による実演と、演じる際の注意等 ○作成ツール(Pペーパー、マーカー等)の紹介	1
8	おはなし組み木1 (入門編)	○おはなし組み木とは ○講師による実演と、演じる際の注意等	1
9	おはなし組み木2 (実習編)	○参加者による実習 ○講師による講評	1

平成 20 年度 各区子どもの読書活動推進連絡会 報告

1. 実施状況

「平成 20 年度大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業のまとめ」のとおり

2. 構成

ボランティアグループ、NPO法人(主に子育て支援)、区役所生涯学習担当、保健福祉センター地域保健福祉担当子育て支援室、支援運営担当、保育所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、小学校(学校図書館活性化事業実施校)、中学校、区社会福祉協議会、区コミュニティ協会、生涯学習推進員連絡会など

3. 主な報告・協議内容

(1)子育て支援の場での取り組み

- ① 子育て支援にかかわる、区役所、保健福祉センターや子育て支援センター、子ども・子育てプラザなどから、親子が集まる場所に絵本を置いたり、読み聞かせの機会を増やすなどの読書支援活動の広がりが報告された。

また、区全体での取り組みから、各施設毎の取り組みまで、様々な場所でいろいろな規模の絵本展が開かれ、絵本の楽しさを広く知ってもらう機会となり、継続的な開催も試みられている。

- ・ 区役所内に開設した「子育てつどいのひろば」に絵本コーナーをつくり、図書館から絵本を借りて置いている。(浪速区など)
- ・ 区役所に新しくできた区民情報コーナーに、図書館からのリサイクルの絵本を置いて、子どもの読書活動のためにも活用していきたい。(住之江区)
- ・ NPO法人が運営するコミュニティスペースで、「つどいの広場」事業を実施することになった。絵本をおき、絵本にも親しむ場とし、ネットワークをひろげたい。(淀川区)
- ・ 大規模マンションのコミュニティプラザでのおはなし会の要請が出てきている。(鶴見区)
- ・ ブックスタートでの読み聞かせを、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診などの場でも行えるよう検討している。(東住吉区、浪速区など)

- ② 子育て支援の中で取り組まれている、絵本の有用性や絵本を介した親子のふれあいの大切さについて、多くの報告があった。

- ・ 子育て支援室の相談員が、サポートが必要な子どもたちのグループで必ず読み聞かせをしている。(東淀川区)
- ・ 気持ちに余裕のないお母さんは、家ではテレビに子守りをさせている状態で、子どもと向き合うことがなく、読み聞かせまでにはいかない。そんなお母さんに絵本の楽しさを知ってもらう必要がある。(生野区)
- ・ 子育て支援室で相談を受けた方が少人数でグループ活動をしていて、絵本の読み聞かせなどを取り入れている。家庭の中で子どもと保護者が1対1のふれあいがで

きるものなので大事だと思う。(大正区)

- ・ ブックスタートで、視覚に障害のあるお母さんに点字の絵本をお渡ししたこともあり、改めてブックスタートでの絵本がお母さんと赤ちゃんの関係づくりのきっかけになると実感している。(鶴見区)

③ 絵本に関心はあるが、どうしたらいいかわからない若い保護者も多く、絵本の楽しさを知ってもらう必要がある。

- ・ 子育て支援センターで、母親たちから絵本に関心があるが、どのように読んだら良いかわからないと、質問がある。牛乳パックで4ページのマイ絵本を作る、絵本作りは絵本に興味をもってもらえ、評判が良い。(福島区)
- ・ 保育所で、親のひざに子どもを抱っこして絵本の読み聞かせを聞く会を実施した。保育所の職員にとっても勉強になった。(東住吉区)
- ・ 子育て支援センターや生涯学習ルームなどで、出前講座「子育てに絵本を」を実施。図書館までは出かけにくい親子連れに絵本の講座ができた。(住之江区など)

(2) 学校での取り組みや学校と地域との連携の場での取り組み

① 小学校で学校図書館活性化事業の実施校が増えたことにより、実施校の取り組みが数多く紹介され、意見交換が行われた。特別支援校が参加された区もあった。

- ・ ボランティアとして地域振興会女性会から年配の方も多く参加があり、児童に対して穏やかに待ちの姿勢で接している。図書室の本や本棚がこの1年間でとてもきれいになり、子どもたちは毎日でも図書室に来たいと言っている。(旭区)
- ・ 来館したらスタンプを押す図書館パスポートを配布し、学期末に来館の多かった子に「図書レンジャー大賞」を授与した。大反響でたくさん集まった。たいていの子は、残って何か読んでから帰っている。6年生の子どもからは、「幼稚っぽいと思っていた絵本の面白さがわかった」、とメッセージがもられた。(住吉区)
- ・ 学校図書館の整備とともに、多目的室に手作りの本棚を置いて、ミニ図書館を開いた。大型絵本等も置き、子どもたちが本を楽しめる空間にしたいと考えている。(城東区)
- ・ ボランティアで本の修理の手伝いに来てくれる高校生もいる。ボランティアの募集について、PTA を主体とするとお昼は仕事で来られない保護者も多い。地域全体の人的資源を生かしたい。懇談会などの来校時に参加するボランティア活動も考えられないだろうか。(阿倍野区)
- ・ 「学校側から学年に絵本が合っているのかとの感想を受けることがある」とのボランティアからの報告に対して、学校側から「教科の課題との比較からの感想であり、あまり気にせず、ボランティアの側からプログラムを組んで活動を長続きさせてほしい」と助言があった。(東住吉区)

② 中学校を始めとした、読書離れについても多くの報告がされた。中学生への読書支援活動にも関心が高まっており、大阪府からの要請による「子ども読書応援団派遣事業」では中学校 13 校でボランティアによるおはなし会が実施された。

- ・ ボランティア仲間では、小学校 3、4 年生くらいから本を読む子と読まない子に微妙に分かれていくのではないかと話している。でも、読まない子も本がまったく嫌いになるわけではなく、今年度、中学校に読み聞かせに行ったが、中学 1 年生たちは絵本をとても楽しんでた。(住之江区)
- ・ 以前から、小学校全学年でお話をして、それから中学校へ行きたいと考えていた。最初はどんなおはなしをしたらいいのかわからず不安だったが、熱心に聴いてくれた。小学校の時からずっとおはなし会をしてきた子がこちらを覚えていることもあった。今後も、継続して中学校へのお話会をやっていきたい。(東成区)
- ・ 中学校でも、本に興味はある生徒は多いが、なかなか読めない。朝の読書はとても好評で、最近では生徒が読む本の数も増えた。数年前に読み聞かせにも来てもらったら学年の雰囲気が変わった。できれば定期的にお願ひしたいが、小学校や図書館と連携してうまくできればと思う。(東淀川区)
- ・ 中学校で取り組んだ手づくり絵本で「えほん展」に参加できたことは良かった。来年度も参加したい。(西淀川区)

③ はぐくみネットや、生涯学習ルームなどでの読書支援活動の取り組みが広がっている。

- ・ 生涯学習ルームでは、自主的に運営している講座がいくつもあり、その中で子どもの読書に関わる講座もすすめられている。(淀川区など)
- ・ はぐくみネット主催の地域連携支援事業で学校図書館支援のボランティアグループによる「おはなし会」をおこなった。(鶴見区)
- ・ 生涯学習ルーム、PTA、はぐくみネット等が連携して、地域連携支援事業として展開していている。(例 親子料理教室や花作りなど)その中で本の読み聞かせの講座や活動等も考えたい。(城東区)
- ・ 各はぐくみ情報誌への図書館事業の掲載依頼や、いきいき放課後事業への図書館行事の広報を行い、大人や子どもに対して区の子ども読書支援活動の周知に努めている。(旭区)

(3) 子どもたちのようすから

① 絵本の世界を楽しむ子どもたちのようすが紹介され、地域の子どもを見守るボランティアから子どもたちの成長が語られた。

- ・ 地域の子育てネットで、毎月絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを行っている。はじめはじっと座ってられない子どもも、半年経つとちゃんと聞けるようになってくる。(大正区)
- ・ 保育所では、絵本が好きでない子どもはほとんどいない。どの子どもも読み聞かせをとっても喜ぶ。いつの時点で、子どもたちは本から離れていってしまうのだろうか。(住之江区など)
- ・ 小学校のおはなし会で、1 時間聞いていることができなかつた生徒が、1 年経つと、聞いていることができるようになった。(旭区など)
- ・ 絵本を読んでもらって自分の思ったことをはなししていた子どもも、小学生になると自分

の意見を言わなくなるように思う。周りにいる者が聞いて話し合いをするなど、本の感想を言えるような場を設けることが大事だ。(旭区)

- ② 大きい子どもが小さい子に読み聞かせをする、中学生が小学校や保育所で読み聞かせをするなど、絵本を介した異なった年齢の子どもの交流についても報告があった。
- ・ 地域ですすめるこどもの仕事体験事業に今年度からボランティア体験も含まれることになり、「絵本のくに ジュニア」を募集し、低学年も合わせて15人が紙芝居作りや読み聞かせに取り組んだ。(淀川区。東淀川区、旭区も同様に取り組んでいる。)
 - ・ 子ども・子育てプラザで、夏休みのプール開放で来る小学生が、午後には練習、次の日の午前に幼児に読んであげる、というローテーションでほぼ毎日読み聞かせをしてくれた。(鶴見区)
 - ・ 小学校で紙芝居を読もうとしたら、高学年の児童が「私も読んでみたい」と言ってきたので、中の登場人物の一人のせりふを読んでもらった。いつも読んであげる立場だが、子どもも読んでみたいということがわかった。(鶴見区)

(4) 新しい取り組みに向けて

- ① 地域施設、図書館、ボランティアのつながりによる、新たな取り組みが報告された。
- ・ 今年度、保健福祉センターを中心に区全体で取り組んだ「えほん展」について、来年度も引き続き区の重点施策として予算化されることになった。アンケート等集約の結果をふまえて、金・土の2日間の開催の方向でいきたい。(西淀川区)
 - ・ 区役所が橋渡し役として、例えば、子育てサロンと図書館とのつながりなど、様々な場所で、読書活動を介したつながりができればと思っている。いつ、どこで、どんな読み聞かせをしているかがわかるような、「読み聞かせマップ」を作成したい。(旭区)
- ② 子どもを取り巻く大人に対する取り組みが欠かせないが、絵本展や絵本マップなど他の区の連絡会の報告も受け、子どもの読書活動に対する広報を拡大するための取り組みが検討されている。
- ・ 区全体の子ども向け行事案内を一覧で市民に見てもらえるものを作成してはどうか。図書館だよりを拡大してはどうか(天王寺区)
 - ・ 図書館に限らず、区内各所でのおはなし会や子育てスペースなどの、子ども読書活動関係のイベント情報を、カレンダー形式などで一覧できるものがあれば便利だ。(阿倍野区)
 - ・ 絵本が入手できる書店やアクセス(バギーでいけるかどうか・地下鉄の出口やエレベーターの有無など)をいれた、読書マップを作成してはどうか、絵本フェスティバルをしたらどうか、などの意見が出た。(浪速区)

乳幼児対象絵本展「えほん展 ふわふわ」

事務局：保健福祉センター地域保健福祉担当
子育て支援室(日野:6478-9958)

概要	区内市立施設で、乳幼児対象の絵本展を実施し、同時に、子育て支援に関する情報提供、及び子育てサロン、サークル、グループの活動発表を行う。また実施に先立ち、運営ボランティアを公募し、子育て支援にかかわる人材の発掘や育成を図る。
日時	12月3日(水) 午前10時～午後3時
会場	エルモ西淀川 大ホール及び各会議室
対象	西淀川区在住 乳幼児親子
目的	<ul style="list-style-type: none">・ 乳幼児世帯に対する読書活動啓発推進・ 密室のなかで孤立しがちな乳幼児世帯に対する子育て支援サービス、支援機関、子育てサロン、サークル等総合的な情報提供・ 子育て支援ボランティアの発掘と育成・ 子育て支援関係機関の区民周知
趣旨	<ul style="list-style-type: none">・ 企画から実施まで市民の知恵・知識を結集しながら進める取り組み (乳幼児対象絵本展実行委員会設置)
開催内容	<ul style="list-style-type: none">・ 大ホールにて絵本を1000冊規模で展示。・ 乳幼児親子にゆっくり絵本に親しむ機会とともに出会いの場提供。・ 同時にパネル展示による区内子育て支援サービス、支援機関・子育てサロン・サークル等の情報提供実施。・ 会議室にてボランティアによる読み聞かせ・紙芝居・人形劇等の催し実施。・ 子育て相談コーナー(支援室)・健康相談コーナー(保健師)開設。・ アンケート調査を実施。当事業の効果測定とともに、乳幼児育児家庭のニーズ把握・実態調査を行う。
主催	・西淀川区役所・西淀川図書館
共催	・西淀川区子育て支援連絡会・西淀川区民生委員協議会 ・西淀川区子どもの読書活動推進連絡会・大阪市立淀商業高校
後援	・西淀川区地域振興会・西淀川区社会福祉協議会・西淀川区コミュニティ協会
協力	・大阪市子育ていろいろ相談センター



絵本展 ぶわぶわ 会場案内図

2008.12.3 (水) 午前10時～午後3時



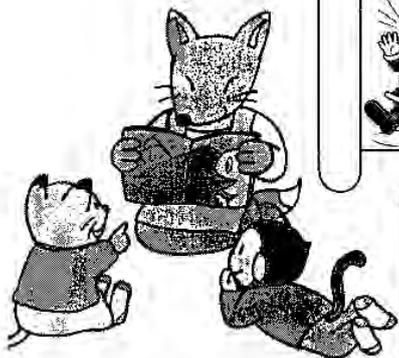
イベントコーナープログラム

- 午前11時～ くみどりの絵本ライブ
- 正午 ～ 絵本の会西淀川
- 午後 1時～ 絵本の会西淀川
- 午後 2時～ くみどりの絵本ライブ



お願い

記録写真・ビデオを随時撮らせていただき、館内に提出あるいは情報誌等に掲載することがありますので、ご了承ください。なお、同意しかねる場合は撮影の前に担当者に申し出てください。



南港北中学校・南港南中学校おはなし会プログラム

2009年1月30日(金)

2009年3月 5日(木)

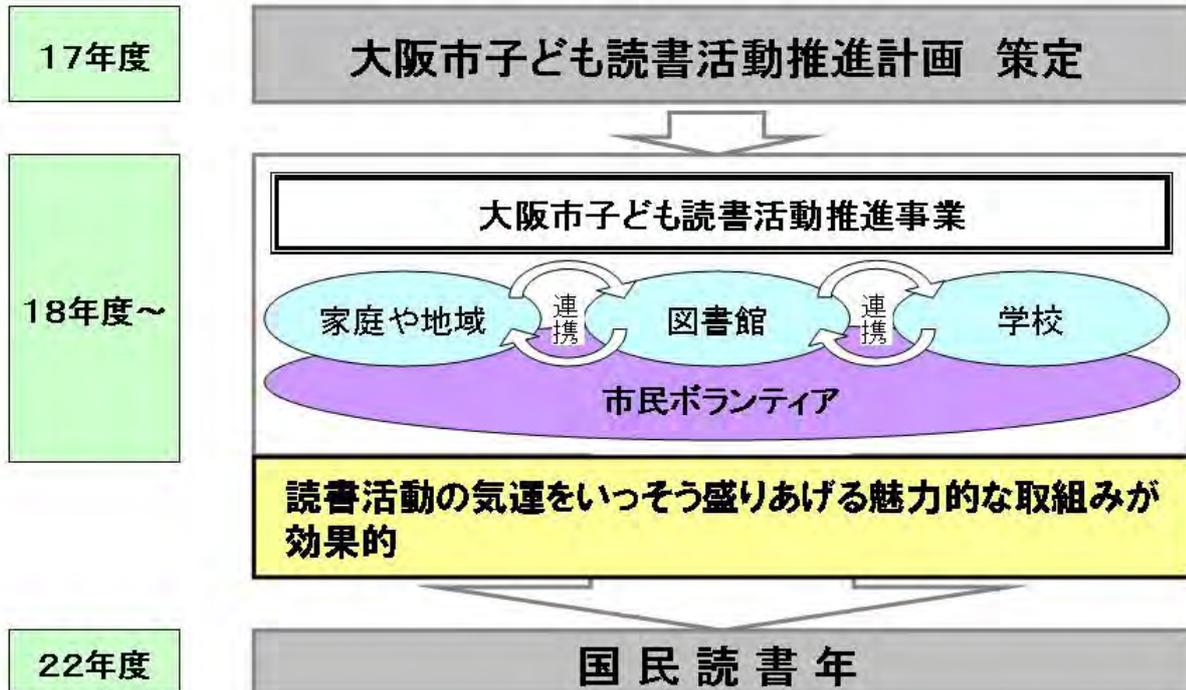
	ジャンル	作品名	書誌事項	所要時間
1	絵本	いろ いきてる!	谷川 俊太郎/文 元永 定正/絵 福音館書店 2008.11	3分
2	お話	コートのお話		2分
3	絵本	だいくとおにろく	日本の昔話 / 松居 直/再話 赤羽 末吉/画 福音館書店 1967.2	10分
4	詩	つくつくづくし	『おはなしお婆さんの詩でダンス・ダンス』藤田 浩 子/編著 近藤 理恵/絵 一声社 2001.8 より	2分
5	絵本	ビッグ・オーとの出会い	シェル・シルヴァスタイン/作 倉橋 由美子/訳 講談社 1982	15分
6		ブックトーク	関連する本の紹介	13分

(計45分)

対象: 1年生3クラス
語り手: 「絵本の会住之江」のみなさん

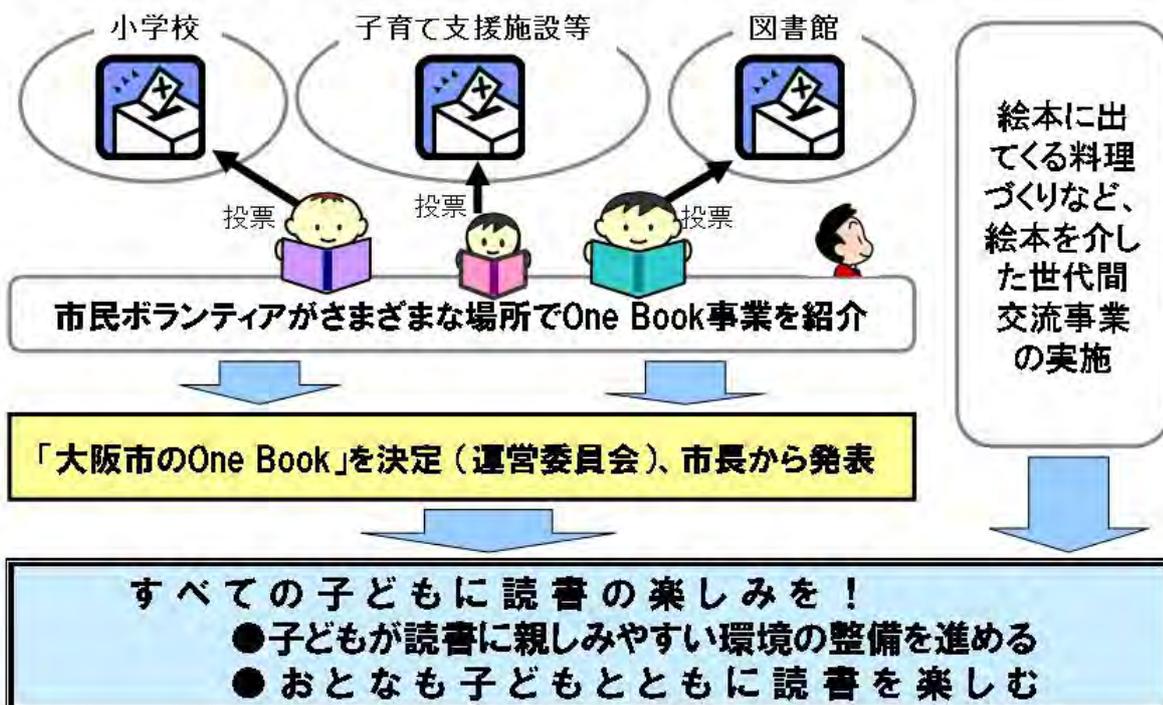
◎One Book One OSAKA事業

21年度 100万円(一般財源100万円)



One Book One OSAKA事業

- 子どもや保護者、市民が「お気に入りの絵本」1冊を選び投票
- 絵本を選ぶ過程で読書への意欲・関心が高まるよう促す



大阪市子ども読書活動推進計画(案) -概要-

第1章 基本的な考え方

1 子どもの読書活動とは

子どもにとって読書とは、さまざまな世界との出会いであり、言葉を学び、表現力や創造力を豊かなものとするうえで欠くことができないものです。

2 推進計画策定の背景

子どもの読書活動に関する施策の総合的、計画的な推進を図るため、「子どもの読書活動推進に関する法律」が平成13年に施行され、同法によって国と地方公共団体は、子どもの読書活動の推進計画を策定・公表することが定められました。

3 基本的な方針

すべての子どもたちが自主的に読書に取り組むことができるよう、家庭や地域、図書館、学校が連携・協力し、子どもの読書環境の整備・充実、普及・啓発、人と本、人と人を結びつける人材の育成、地域・市民を軸とした読書活動の輪の形成に取り組みます。

第2章 推進のための具体的な取り組み

1 家庭、地域における子どもの読書活動の推進

乳幼児にとって、大好きな人が自分のために語りかけてくれることは大きな喜びであり、人間への信頼感を築き、やがて言葉の獲得につながります。

ブックスタート事業の効果を高め、乳幼児と保護者が絵本に触れ合う機会が増えるよう、情報提供の拡充、継続的な働きかけに努めるとともに、子どもに身近な施設で読書を楽しめる環境づくりに取り組みます。また、各施設と子育てグループ、図書館間でネットワークづくりを図り、子どもの読書に対する理解を深めます。

2 図書館における子どもの読書活動の推進

子どもにとって図書館は、ひとりの利用者として、自由に読みたい本を選び、読書の楽しさを体験し、貸出などのサービスを受けることができる場であり、本の検索等を通し、求める資料・情報を見つけたり、豊かに広がる知識・情報の世界に触れられる場でもあります。

各図書館ごとに重点事業計画を立て、蔵書の充実や絵本や物語を楽しむ機会の拡充など、サービスの充実に取り組み、図書館が地域における子どもの読書活動推進の相談・支援センターとしての機能を果たします。また、各種講座や交流会の開催等、子どもの読書活動支援にかかわるボランティアの交流、支援に努めます。

3 学校における子どもの読書活動の推進

学校教育では従来から各教科等での学習を通じて読書活動が行われており、読書習慣を形成していくうえでも大きな役割を担っています。さらに、読書タイムや読みきかせの充実を図るなど、各学校が積極的に読書活動の推進・充実に努めます。

子どもの主体的な学習活動を支え、読書活動を通じて子どもの人間形成を育む場として、学校図書館の役割は極めて重要であり、学校図書館司書教諭が学校図書館の運営に十分な役割を果たすことができるよう、教職員の協力体制の確立、校務分掌上の配慮などに努めます。

家庭・地域が連携して子どもの読書活動支援に取り組む事例などを収集し、各学校へ発信するよう努めます。

4 子どもの読書支援活動への理解と意識の向上

図書館のホームページ上でコンテンツを豊富にするなど、さまざまな機会を活用し、市民への情報提供や子どもの読書に対する理解・関心が高まるよう努めます。

5 関係機関の連携・協力

子どもの「生きる力」の育成をめざすという教育改革の理念は、家庭や地域、学校が連携・協力して実現するものであり、地域社会の中で子どもを育てる教育コミュニティの再生を図ることが必要です。「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書を行うことができるよう」支援するために、**家庭、地域、図書館、学校の連携を推進します。**

学校図書館の活性化を図るため、**学校と図書館との連携を強化し、学校と図書館の連携モデル事業等の研究を進めます。**

図書館の幼児期読書環境整備事業について、対象施設の拡充を検討し、乳幼児親子が身近に絵本に親しめる環境づくりを目指します。

第3章 計画を推進するための重点施策

1 推進体制の整備

区レベルで、図書館、学校、子どもの読書活動推進にかかわる関係機関、読書支援活動ボランティア等で構成する「**子どもの読書活動推進連絡会(仮称)**」を設置し、市民参加による推進体制を整備します。

2 普及・啓発活動の推進

3 家庭、地域、図書館、学校における子どもの読書活動の推進

家庭、図書館や子どもの身近な施設、学校、のそれぞれが子どもが読書に親しむ機会の充実に努めます。

4 連携による子どもの読書活動の推進

子どもの読書にかかわるさまざまな施設が連携・協力しながら、子どもの読書活動を豊かにできるよう、図書館が積極的な情報収集・提供に努め、地域の子どもの読書活動の相談・支援センターとしての役割を果たします。

大阪市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱

(設置)

第1条 「大阪市子ども読書活動推進計画」(平成18年3月策定)に基づき、本市のすべての子どもたちが、さまざまな機会と場所において読書の喜びを味わい、読書を通して生きる力を身につけていくことができるよう、各区で行う子どもの読書支援活動の連携を進めるため「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」(以下「推進連絡会」という)を設置する。

2 各区において学校や図書館その他の関係機関及び民間団体・グループが、それぞれの課題を理解しながら協力して取り組み、子どもの読書活動を推進するため、各区に「区子どもの読書活動推進連絡会」(以下「区の推進連絡会」という)を設置する。

(所掌事務)

第2条 「推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。

- (1) 区の「区の推進連絡会」での協議の集約に関すること。
- (2) 子ども読書の日(4月23日)記念事業他関係団体等が行う読書支援活動の状況把握に関すること。
- (3) 子どもの読書支援活動を推進するための広報啓発事業に関すること。
- (4) その他、子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。

2 「区の推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。

- (1) 地域における子どもの読書支援活動に関する情報発信に関すること。
- (2) 施設間、団体間の情報交換や他の区の子どもの読書支援活動の紹介・交流に関すること。
- (3) 学校図書館支援モデル事業の進捗状況の報告に関すること。
- (4) 学校における子どもの読書支援活動についての情報の共有化に関すること。
- (5) 子ども対象の読みきかせやおはなし会、子どもの読書支援活動に関する講座の開催に関すること。
- (6) その他、区における子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 「推進連絡会」は、別表に掲げる団体等の代表者(推薦された者)により構成する。

2 「区の推進連絡会」は、各区内の図書館、学校、幼稚園、保育所、区役所、保健福祉センター、子ども・子育てプラザ、子育てサロンなど、子どもの読書活動に関わる関係機関の職員および読書支援活動グループ等の代表者の参加により、開催する。

(座長)

第4条 「推進連絡会」に、座長を置く。

2 座長は、「推進連絡会」の構成員の互選により選出する。

(「区の推進連絡会」の代表者)

第5条 各「区の推進連絡会」に、代表者を置く。

2 代表者は、各「区の推進連絡会」の構成員の互選により選出する。

(事務局)

第5条 「推進連絡会」の事務局は大阪市立中央図書館利用サービス担当に置く。

2 各「区の推進連絡会」の事務局は各区の大阪市立図書館に置く。

(会議)

第6条 「推進連絡会」は、事務局が構成員を招集して開催する。

2 各「区の推進連絡会」は、事務局が構成員を招集して開催する。

(施行の細則)

第7条 この要綱の施行について必要な事項は、事務局が定める。

附則 この要綱は平成19年 7月 17日から施行する。

(別表)

大阪市子どもの読書活動推進連絡会の構成

順不同

- ・ 各区の「子どもの読書活動推進連絡会」代表者
- ・ 大阪市PTA協議会
- ・ 大阪市生涯学習推進員協議会
- ・ 大阪市教育委員会事務局 生涯学習部
- ・ 大阪市教育委員会事務局 指導部
- ・ 大阪市立図書館
- ・ 学識経験者

平成20年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会出席予定者名簿

(平成21年3月23日)

お名前 (敬称略)	代表区分	所属・役職名等
脇谷 邦子	学識経験者	同志社大学嘱託講師、元府立図書館こども資料室長
木原 俊行	学識経験者	大阪教育大学教授
増田 耕三郎	社会教育関係団体	大阪市PTA協議会研修委員長
福留 まさ美	社会教育関係団体	大阪市PTA協議会広報委員長
松岡 義博	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会運営委員長
松井 芳春	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会副運営委員長
香川 婦美子	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会副運営委員長
金田 治子	区の子どもの読書活動推進連絡会代表	北 絵本の会北 代表
中川 良子	同上	都島 都島絵本の会 ふあいと
平松 周代	同上	福島 絵本の会福島 代表
中西 由利	同上	此花 此花図書館 絵本の会
釣島 恭子	同上	中央 絵本の会 島之内
牧野 真美	同上	西 おはなしの会まじょ魔女/絵本の会 西
永田 勝枝	同上	港 絵本の会 みなと
細井 佐和子	同上	大正 おはなしボランティア アナンシ
野田 祐子	同上	天王寺 天王寺おはなし「ぼちぼち」
上田 道代	同上	浪速 なにわえほんの会
鵜久森 典子	同上	西淀川 絵本の会 西淀川 副代表
松尾 佳美	同上	淀川 神津小学校「絵本のくに」
渡邊 裕美子	同上	東淀川 おはなしボランティアとことこ代表、民生委員主任児童委員
上垣 敬子	同上	東成 東成絵本の会 代表
白口 トキ子	同上	生野 あじさいブッククラブ
高石 恵	同上	旭 本のとびら 代表
中山 良子	同上	城東 城東絵本の会
室屋 佐知子	同上	鶴見 絵本の会 鶴見
岡田 三都子	同上	阿倍野 おはなしとんとん
吉原 美紀	同上	住之江 絵本の会住之江
西本 みどり	同上	住吉 長居文庫
貴志 光代	同上	南住吉大空小学校 図書ボランティア
増田 利子	同上	
岩切 美恵子	同上	
久米 真弓	同上	
原 雅子	同上	
清水 未衣	同上	
田口屋 初美	同上	東住吉 おはなしたまてばこ
藤原 里有子	同上	平野 おはなし「たからばこ」
奥田 良子	同上	西成 西成絵本の会
佐藤 千恵子	同上	

平成20年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会事務局名簿

(平成21年3月23日)

教育委員会事務局中央図書館

所 属	氏 名
中央図書館館長	吉原 康文
中央図書館副館長	本川 敏一
中央図書館総務担当課長	菱岡 省二
中央図書館利用サービス担当課長	梅沢 忠利
中央図書館地域サービス担当課長	戸部 久三
中央図書館利用サービス担当課長代理	高橋 俊郎
中央図書館利用サービス担当課長代理	大久保 典子
中央図書館地域サービス担当課長代理	松下 玲子
中央図書館 担当係長	赤堀 祐子
〃 〃	井上 由美子
〃 〃	島上 智司
〃 〃	林 隆子
北図書館長	吉田 和彦
都島図書館長	齋藤 健一
福島図書館長	池上 也之保
此花図書館長	成元 勝
島之内図書館長	島津 秀信
港図書館長	中田 夕子
大正図書館長	阪田 佳子
天王寺図書館長	藤江 千恵
浪速図書館長	波床 裕子
西淀川図書館長	赤利 令
淀川図書館長	藤井 直美
東淀川図書館長	齊藤 美子
東成図書館長	平田 満子
生野図書館長	山田 和伸
旭図書館長	八木 由美
城東図書館長	米川 くりえ
鶴見図書館長	宮田 英二
阿倍野図書館長	滝澤 裕美子
住之江図書館長	長谷部 絵里
住吉図書館長	角田 人志
東住吉図書館長	竹田 君代
平野図書館長	柴田 晴美
西成図書館長	村岡 和彦

教育委員会事務局指導部

所 属	氏 名
首席指導主事	赤銅 久和
主任指導主事	中谷 裕巳

教育委員会事務局生涯学習部

所 属	氏 名
市民学習振興担当課長	森本 充博
副参事兼担当係長	樋上 佳史

「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」実施報告書 平成22年(2010年)3月

大阪市教育委員会 〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20